

日本天文学会 1999 年秋季年会プログラム

場 所 九州大学 六本松キャンパス (案内図参照)

〒 810-8560 福岡市中央区六本松 4-2-1

電 話・FAX 090 - 4387 - 6893 <使用期間 1999 年 10 月 6 日 (水) ~ 10 月 10 日 (日) >

日 程

時刻	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
月日	会場	分 野			分 野						
10月7日 (木)	A		星形成			星形成		ポ ス タ ー (前)	特 別 講 演	天 文 教 育 フ ォ ー ラ ム	
	B		情 報			教 育	—				
	C		恒 星			恒 星					
	D		銀河核			銀河核					
	E		太 陽			太 陽					
	F		地上観			地上観					
	G		銀 河			銀 河					
	H		宇宙論			宇宙論					
10月8日 (金)	A	星形成		ポ ス タ ー (前)	評 議 員 会	星形成		ポ ス タ ー (後)	招 待 講 演	総 会	懇 親 会
	B	星 間				星 間					
	C	恒 星				恒 星					
	D	銀河核				銀河核/銀河形成					
	E	太 陽				太 陽					
	F	地上観				地上観					
	G	銀 河				銀 河					
	H	飛翔観				飛翔観					
10月9日 (土)	A	—		ポ ス タ ー (後)	理 事 会	—					
	B	星 間				星 間					
	C	恒 星				恒 星					
	D	銀河形成				銀河形成					
	E	宇宙ジェット				宇宙ジェット					
	F	天力/太陽系				太陽系/位置					
	G	銀河団				銀河団					
	H	飛翔観				飛翔観					

ポスター (前半) : 太陽、星形成、銀河、銀河核、宇宙論、地上観、情報、教育・他

ポスター (後半) : 宇宙ジェット、銀河形成、置、天力、太陽系、恒星、星間、銀河団、飛翔観

A 会場 : N110 教室 (新 1 号館 1 階)

E 会場 : N150 教室 (新 1 号館 5 階)

B 会場 : N120 教室 (新 1 号館 2 階)

F 会場 : N151 教室 (新 1 号館 5 階)

C 会場 : N130 教室 (新 1 号館 3 階)

G 会場 : N143 教室 (新 1 号館 4 階)

D 会場 : N140 教室 (新 1 号館 4 階)

H 会場 : N131 教室 (新 1 号館 3 階)

ポスター会場 : 大集会室 (学生会館 2 階)

懇親会場 : 生協食堂 (学生会館 1 階)

講演数 合計 509 うち、口頭講演 : 309、ポスター講演 : 200

基本登録料 : 3,000 円 (正会員の学生 2,000 円)

追加講演登録料 : 3,000 円 (1 講演を越えた講演数に対して)

予稿集頒布価格 : 2,000 円

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は8会場で行います。口頭講演（添字 a）は、口頭発表 10 分、質疑応答 5 分です。ポスター講演（添字 b）は、口頭発表 3 分、4 講演で 15 分を割り当て、座長の判断でまとめて質疑応答を行います。

※時間厳守：講演時間制限を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表（添字 b）は会期の前半と後半で交代となります。自分の発表時間帯をプログラムで確認して下さい。前半の方は、初日 9 時から第 2 日目正午までが発表時間です。正午までに撤去して下さい。後半の方は第 2 日目正午から最終日午後 3 時まで発表できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に指定された期間掲示し、終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。（ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。）

◎会期中の行事

- | | | | | | |
|----|-----------|---|-------------------|---------------|-------|
| 1. | 特 別 講 演 | : | 1 日 目 | 16:00 ~ 16:40 | A 会場 |
| 2. | 天文教育フォーラム | : | 1 日 目 | 16:45 ~ 18:15 | A 会場 |
| 3. | 評 議 員 会 | : | 2 日 目 | 12:00 ~ 13:00 | 会議室 1 |
| 4. | 招 待 講 演 | : | 2 日 目 | 16:00 ~ 16:50 | A 会場 |
| 5. | 総 会 | : | 2 日 目 | 17:00 ~ 18:20 | A 会場 |
| | 主な議題 = | | ○ 2000 年度事業計画 (案) | | |
| | | | ○ 2000 年度収支予算 (案) | | |
| 6. | 懇 親 会 | : | 2 日 目 | 18:30 ~ 20:30 | 生協食堂 |
| 7. | 理 事 会 | : | 3 日 目 | 12:00 ~ 13:00 | 会議室 1 |

◎特別講演

- 日 時 : 1999年10月7日(木) 16:00 ~ 16:40
- 場 所 : A会場
- テ ー マ : ガンマ線バースト観測の最近の進展
- 講 演 者 : 村上敏夫(宇宙科学研究所・助教授)
- 概 要 : イタリアの衛星 BeppoSAX による X-ray afterglow の発見と、それを使った精密な発生方向の決定が行なわれました。その 置情報を使った地上の望遠鏡や HST による観測。これらにより、ここ 2 年ほどの間にガンマ線バーストの起源の理解は急速に進みました。軟ガンマ線リピーターを magnetar と考えるアイデアとともに、ガンマ線バーストの原因天体について最近の観測を紹介します。

◎招待講演

- 日 時 : 1999年10月8日(金) 16:00 ~ 16:50
- 場 所 : A会場
- テ ー マ : 20世紀初め韓国で活躍した二人の先駆者(和田雄治と W. Carl Rufus の例)
- 講 演 者 : 羅逸星(Nha Il-Seong)
- 所 属 : 羅逸星天文館、757-910 韓国慶北醴泉郡甘泉 徳栗里山 133
- 講演者紹介 : 1932年生、延世大学校物理学学科卒、同修士修了、University of Pennsylvaniaにて Ph.D.(天文学)取得。延世大学校副教授、教授を経て現在名誉教授。この間、韓国天文学会長、韓国科学史学会副会長、韓国宇宙科学学会会長を歴任。1999年6月、韓国慶北醴泉郡甘泉に「羅逸星天文館」を設立。
- 概 要 : 15世紀に全盛を迎えた韓国の天文活動は、18世紀の中興期の後衰退し、朝鮮王朝が500年の歴史を閉じると同時に中断しました。その結、20世紀初頭約20年間には、二人の外国人を除いて天文家は誰もいなかったこととなります。すなわち、初代朝鮮総督府観測所長の和田雄治(気象学者、1859 - 1918)と、米国 University of Michigan の天文学教授 W. Carl Rufus (1876 - 1946)です。講演では、まず20世紀初期の背景となる19世紀の韓国内の事情を振り返った後、韓国天文学に関係した和田と Rufus の業績、および1970年代以後の現代天文学者たちに与えた影響を紹介します。

◎天文教育フォーラム (天文教育普及研究会, 日本学術会議天文学研究連絡委員会と共催)

日 時: 1999年10月7日(木) 16:45~18:15

場 所: A会場

テ ー マ: 「古くて新しい問題: OD問題の現状
~ 天文学会研究者人口調査から見えてくるもの ~」

最近の大学・大学院の改組および重点化政策により大学院の院生定員が急増し、これに伴い大学院をめぐる研究教育環境および大学院終了後の就職状況が大きく変化しつつあります。このような状況下での天文学の今後を考えるための基礎資料を得るために、本年5月に天文学会教育委員会では、天文研究者の人口調査を行ないました。今回のフォーラムでは、その集計結果を報告します。さらにそこから見えてくる状況について様々な立場の方から話題を提供して頂き、問題点を考えてみたいと思います。

<話題提供>

1. 研究者人口調査の報告 沢 武文 (愛知教育大)
2. 研究者人口調査から読みとれること
『大学院重点化による影響について』
教官の立場から 観山正見 (国立天文台)
3. 研究者人口調査から読みとれること
若手の立場から 今井 裕 (国立天文台水沢)
4. 研究者人口調査から読みとれること
日本の学術体制との関連で 池内 了 (名古屋大学)

実行委員

山縣朋彦 (文部省)、縣秀彦 (国立天文台)、鈴木文二 (埼玉県立三郷工業技術高等学校)、
仲野誠 (大分大)、加藤万里子 (慶応義塾大)

※フォーラムのみの参加者は、年会基本登録料は不要ですので、年会受付でその旨お伝え下さい。
当フォーラムに関するご要望、ご意見などは上記の実行委員までお申し出下さい。

◎日本天文学会公開講演会 (福岡県教育委員会、福岡市教育委員会後援)

「宇宙観の移り変わり -- 古代人の宇宙と現代人の宇宙」

日 時: 1999年10月10日(日) 14:00~17:00 (13:30開場)

場 所: 九州大学六本松キャンパス N110教室 (新1号館1階)

対 象: 中学生以上・一

「古墳の中の宇宙 -- キトラ天文図と中国の宇宙観 --」

講演者 同志社大学・助教授 宮島一彦

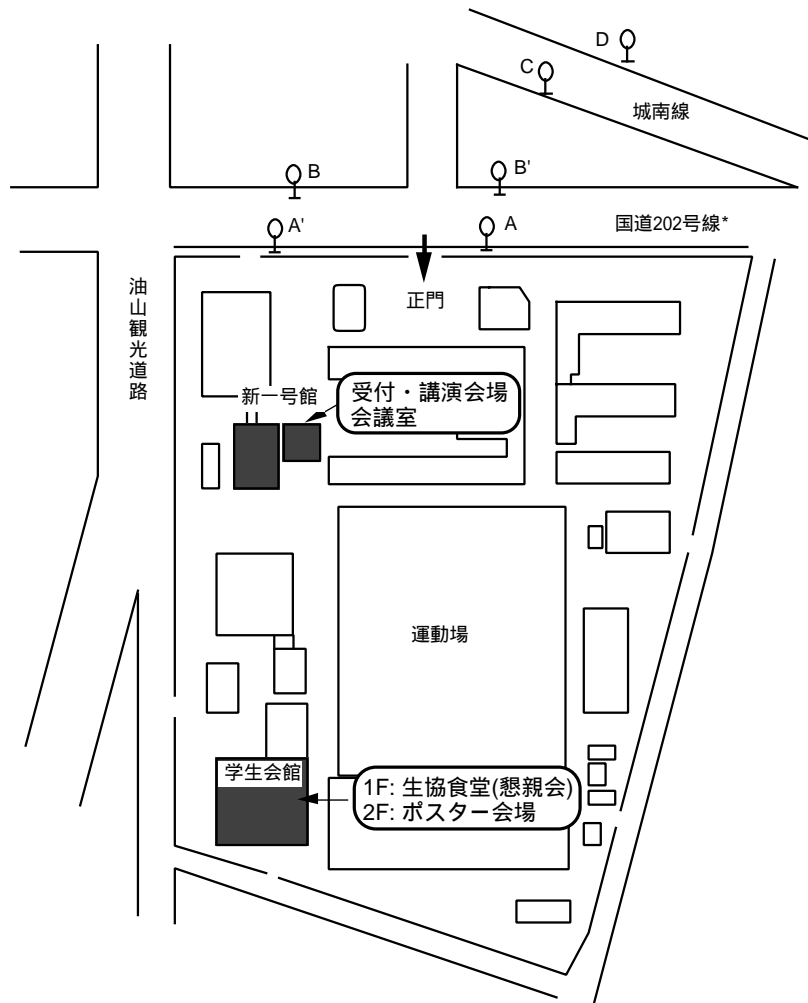
「現代宇宙論の概観」

講演者 名古屋大学・教授 池内 了

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

秋季年会会場（九州大学六本松キャンパス）のご案内



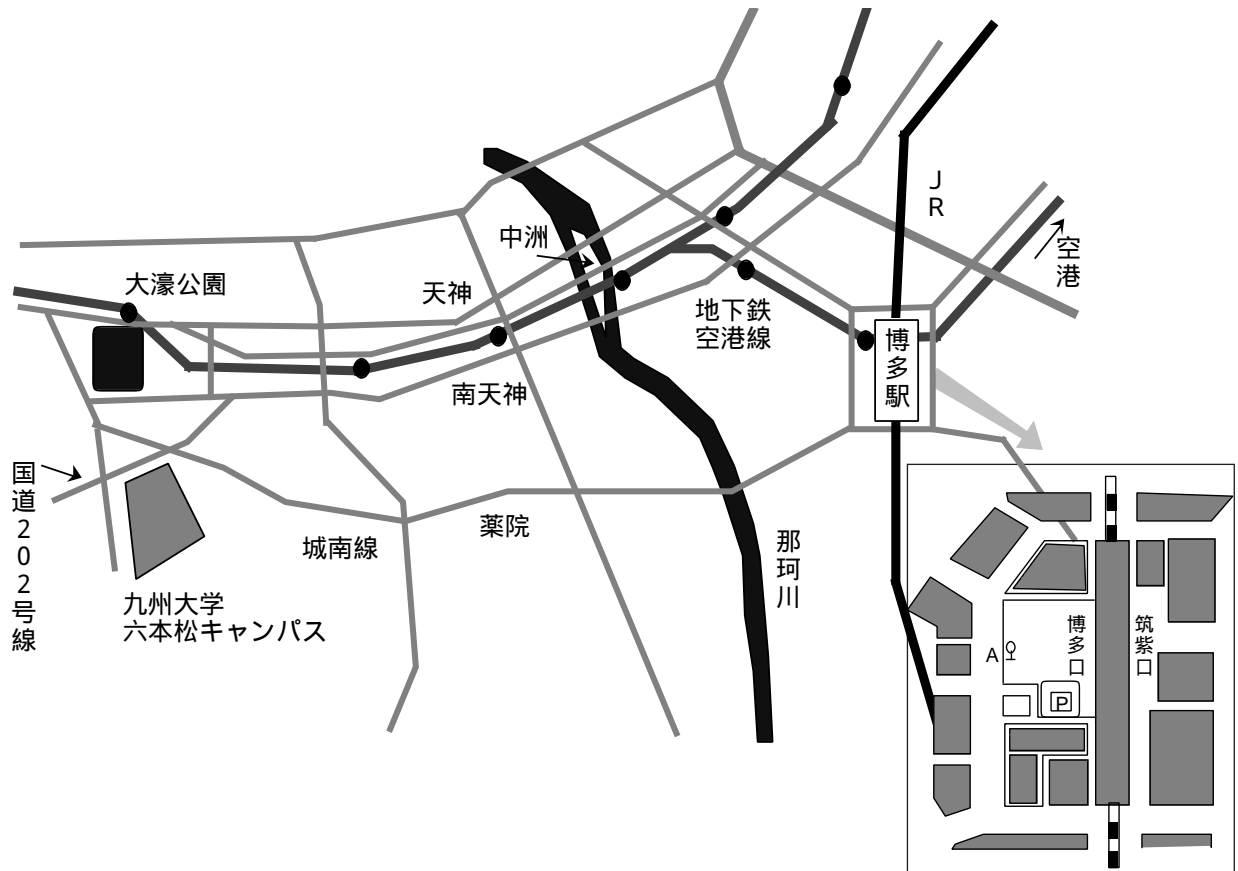
- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| A 会場： N110 教室（新1号館1階） | E 会場： N150 教室（新1号館5階） |
| B 会場： N120 教室（新1号館2階） | F 会場： N151 教室（新1号館5階） |
| C 会場： N130 教室（新1号館3階） | G 会場： N143 教室（新1号館4階） |
| D 会場： N140 教室（新1号館4階） | H 会場： N131 教室（新1号館3階） |
- ポスター会場：大集会室（学生会館2階）
懇親会場：生協食堂（学生会館1階）

六本松バス停の乗り場案内

- A バス停：博多駅・天神方からのバスの降車地
B バス停：博多駅方（南天神経由）、南天神方
C バス停：西新方（10番バスのみ A ではなくここに着く）
D バス停：博多駅方（城南線経由・天神経由）、天神方

- * キャンパス前の国道202号線は、地下鉄工事中のため、A, B バス停は A', B' に移動している可能性もあります。ご注意ください。
- * 地下鉄工事に伴い、渋滞も予想されます。時間に余裕を持ってご来場ください。
- * キャンパス内に車の乗り入れはできません。周辺にも駐車場は少ないため、バス等にてご来場下さい。

年会会場への交案内



福岡市内の移動はバスが中心となります。時刻・路線・運賃等に関しては、西日本鉄道の Web page (<http://www.nishitetsu.co.jp/>) が充実しています。

・福岡空港から

地下鉄で博多 (5分、250円) へ出て、バス乗り換え (以下参照)。

タクシーで約20分 (約2500円)。

・博多駅から

博多口Aバスのりばから、バス前・側の経由地に「六本松」とあるバス (2～4分毎) に乗車し、「六本松」バス停下車 (約20分、220円)。

*博多駅前の福岡交センターからも六本松経由のバスがありますが、本数がやや少なく不便です。

*キャンパス前は地下鉄工事のため渋滞が予想されます。時間に余裕を持って参加下さい。

・天神 (西鉄福岡駅・天神バスセンター) から

天神コア前バスのりばから、バス前・側の経由地に「六本松」とあるバス (4～5分毎) に乗車し、「六本松」バス停下車 (約15分、180円)。

・地下鉄大濠公園駅から徒歩25分 (道もわかりにくく、お勧めしません)。